

## AAC（補助代替コミュニケーション）について

### AACとは？

AACとは、Augmentative & Alternative Communicationの略で、日本語では「補助代替コミュニケーション」といわれています。これは、重い障害をもつ人々のコミュニケーションを補償するための、医学、工学、言語学、リハビリテーション、教育などの分野における研究領域及び臨床活動を指します。昨今、コミュニケーションに障害をもつ人が、より主体的に意思伝達を図ることができるようにさまざまな手段を用いる取り組みが広がっています。



### リハビリテーションとAAC

AACを有効に実行するためには、利用者の残存能力の活用が必要となります。このため、リハビリテーションと並行してAACの導入が図られるケースが多くあります。当センターにおいても適応がある場合には、言語聴覚士によるアプローチが行われています。

### AACの実際

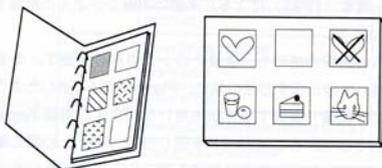
(1) ローテクエイド（身近な材料で作成できる補助手段）を利用したコミュニケーションの例

#### シンボル

視覚的なシンボルを用いてコミュニケーション機能を支える。シンボルの使い方はボードやノートなどさまざまな方法がある。



コミュニケーションカード



コミュニケーションブック、ファイル

コミュニケーションボード

#### ▲シンボルの利用例

#### 文字盤

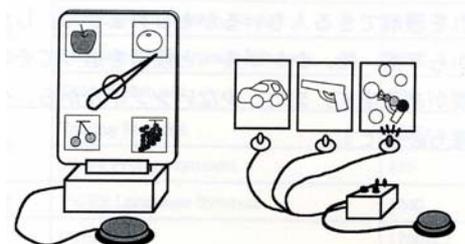
音声は利用できないが文字理解が良好なケースには、50音表を配列した文字盤を使用する。指さしや視線で音を示す。

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0
あ	か	さ	た	な	は	ま	や	ら	わ	
い	き	し	ち	に	ひ	み	。	り	！	
う	く	す	つ	ぬ	ふ	む	ゆる	を		
え	け	せ	て	ね	へ	め	、	れ	😊	
お	こ	そ	と	の	ほ	も	よ	ろ	ん	

#### ▲文字盤・50音表

#### 選択を支える機器

運動機能の制限がある場合にはローテクエイドと機器を組み合わせ使用します。



ダイアルスキャン

スキャンライト

#### ▲シンボルとスイッチの使用例

## (2)ハイテクエイドを利用したコミュニケーションの例

### VOCA

Voice Output Communication Aids  
の略で、「ヴォカ」と呼ばれる。  
音声出力機能を備えたコミュニケー  
ションエイドの総称で、ポケットサイズか  
ら大型のものまでさまざま。



▲録音・再生／単数キータイプ



▲録音・再生／複数キータイプ



▲文字入力・合成音声再生タイプ

### コンピュータや iPad®等のアプリケーション

コンピュータや近年発展が目覚ましい iPad®等のハイテク  
ノロジーの利用によって、手軽・安価にコミュニケーショ  
ンの可能性が得られるようになった。障害をもつ人々のア  
クセシビリティを改善するハードウェアやソフトウェア  
の開発に大きな関心と期待が寄せられている。



▲iPad®、アンドロイド®等のさまざまなAACアプリ

## テクノロジー利用のメリット・デメリット

前述したとおり、AAC の利用は障害をもつ人々にとって自発的なコミュニケーションを引き出し、  
生活の質を向上させることにつながります。しかし、どんなに先端のテクノロジーがあっても、  
日常的に使いこなすことができないケースや、適応を間違ってしまった場合には、その人の残存機能  
を低下させることにもつながりかねません。このため、AAC の利用は専門家による機能評価、適応の  
判断が必要といえるでしょう。

## AACの展望 —障害者歯科の立場から—

障害者歯科医療の場で患者さんとの相互コミュニケーションは、患者さんにとって安心感や信頼感  
に繋がります。コミュニケーション障害があっても、AAC を活用することで、その方に適した方法で  
コミュニケーションを取ることができると考えられます。質の高い歯科医療の提供、患者さんや保護  
者・介助者のQOL向上の一助のため、AAC の使用目的や方法を正しく理解し、活用していくことが  
期待されています。